

2020年4月30日

株式会社 Loop で「グリーン私募債」を成約

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 三毛 兼承^{みけ かねつぐ}、以下 当行）は、株式会社 Loop（代表取締役社長 中村 創一郎^{なかむら そういちろう}）より当行総額引受私募債の組成依頼を受け、グリーンボンド原則に基づく資金使途（再生可能エネルギーに関する事業：太陽光発電所の建設、購入）として、グリーン私募債を発行致しました。

本資金使途は、株式会社格付投資情報センターより、十分な環境改善効果が見込まれ、且つ、環境面・社会面における潜在的にネガティブな影響への配慮がなされているプロジェクトとしての確認がなされ、グリーンボンド原則が定める資金使途・プロジェクトの評価と選定プロセス・調達資金の管理・レポート・発行体の環境活動の第三者認証も取得し、最上位の「GA1」の評価を受けています。

株式会社 Loop は、「エネルギーフリー社会の実現」をビジョンとして掲げており、再生可能エネルギーの普及によってエネルギー（電気）が自由に使える社会となることで、快適で心地良い暮らしや大幅にコストダウンされた移動、地域や世代などの壁を越えた社会的な課題の解決を通じて、新しい世界を作るリーディングカンパニーとして走り続けることを目指しています。

【環境方針】

私たち株式会社 Loop は、持続可能な仕組みづくりが求められる現代社会において、自らが果たすべき役割と責任を認識し、環境へ与える負荷を減らしていくための継続的改善を実行します。

再生可能エネルギーを普及させる企業としてエネルギーの無駄をなくし、事業活動と環境配慮を両立させ、社会に貢献する企業を目指すために、以下の項目を重点的に推進します。

1. 環境方針に基づいた環境目的・環境目標を設定し、その実行状況を定期的に見直すことによって、環境マネジメントシステムを継続的に改善し、汚染を予防します。
2. 当社は、ソーラー発電所に必要な部材の調達から設置方法の考案、販売までを提供する企業として、お客様へ環境に配慮した製品・サービス・情報をお届けします。
3. 省資源・省エネルギー、廃棄物の削減などに取り組み、製品の開発・研究・企画の段階において、環境負荷の軽減に努めます。
4. 事業活動に適用される環境に関する法令、及び当社が同意するその他の要求事項を順守します。
5. 環境方針は文書化し、すべての社員に周知し理解を得ることによって、環境に対する意識の向上と教育及び啓発を図るとともに、文書やインターネットのホームページを用いて一般の人々に公開します。

当行は、長期的な視点でお客さまや社会と末永い関係を築き、共に持続的な成長を実現するため、2019年8月にサステナブルビジネス室を設立しました。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、事業を通じた環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以上